



第182期中間事業報告書

2005年4月1日～2005年9月30日



株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当社第182期中間期(2005年4月1日から2005年9月30日まで)の営業の概況についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に民間設備投資が増加し、個人消費も回復傾向を見せるなど、概ね堅調に推移しました。また、原油価格の高騰による景気への悪影響が懸念されましたが、米国経済の拡大、アジア地域の成長が続きました。

このような状況の中で当社は、ワイエスディー・ジーゼロ中期経営計画「YSD50」の目標実現に向けて諸施策を実施してまいりました。

販売状況につきましては、リビング事業は売上げを伸ばしましたが、楽器事業、AV・IT事業、電子機器・電子金属事業、

レクリエーション事業およびその他の事業が売上げ減少となりました。特に電子機器・電子金属事業は、大幅な売上げ減少となりました。

以上により、当中間期の連結売上高は2,571億93百万円(前年同期比4.2%減少)となりました。このうち、国内売上高は1,493億22百万円(前年同期比8.8%減少)、海外売上高は1,078億71百万円(前年同期比2.9%増加)となりました。

また、連結損益につきましては、経常利益213億38百万円(前年同期比24.6%減少)、中間純利益は165億24百万円(前年同期は中間純損失61億15百万円)となりました。

中間配当につきましては、10月31日開催の取締役会において1株につき10円とすることを決定いたしました。

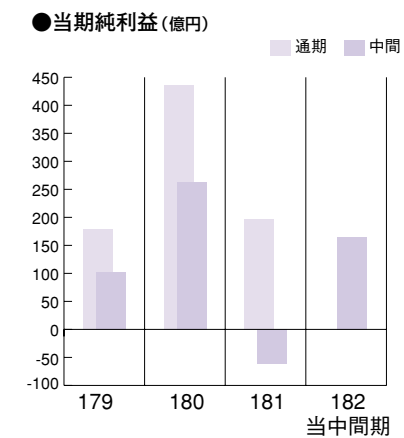
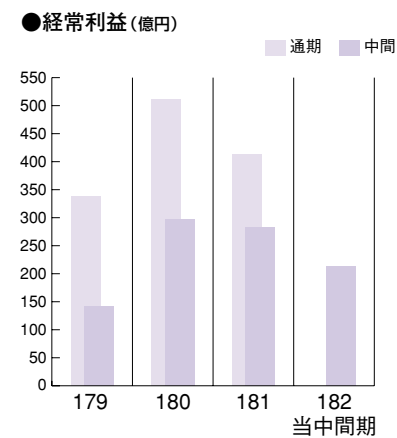
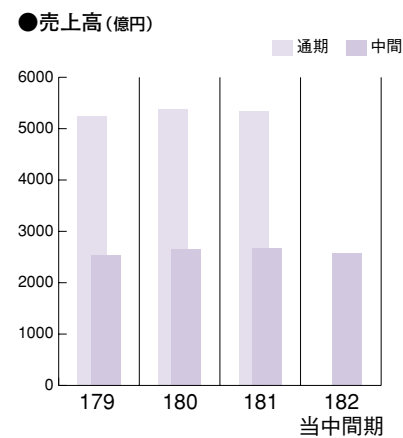
通期業績の見通しにつきましては、電子機器・電子金属事業は、携帯電話用音源LSI市場の不透明感もあり減収を見込んでおりますが、楽器事業、AV・IT事業は新製品効果により増収を見込んでおります。

当社といたしましては、不安定な市場変化への対応に万全を期すとともに、ヤマハグループ一丸となって、高水準の利益創出と継続的な成長のための経営構造の実現に努め、株主の皆様のご期待にこたえていく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2005年12月
代表取締役社長

伊藤修二



連結事業の概況

楽器事業

楽器は、海外市場では増収となりましたが、国内市場では減収となりました。

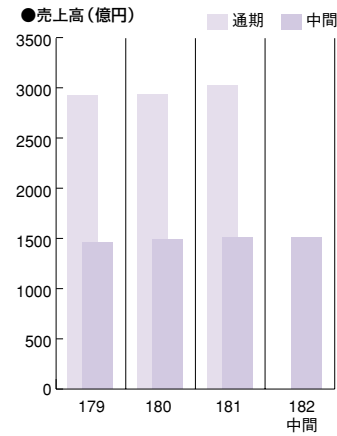
ピアノは、海外市場が好調に推移したことから売上げ増加となりました。電子楽器は、音響機器が好調に売上げを伸ばしましたが、エレクトーンとポータブルキーボードの売上げ減少を補うことができず、減収となりました。管・弦・打楽器は、管楽器が好調に推移し、売上げを伸ばしました。

教室収入は、音楽教室、英語教室とも在籍生徒数が増加し、全体で売上げを伸ばしました。

コンテンツ配信収入は、売上げ増加となりました。

以上により、当事業の売上高は1,507億70百万円(前年同期比0.3%減少)、営業利益は80億74百万円(前年同期比18.4%減少)となりました。

- 主要連結子会社
(株)ヤマハミュージック東京他販売子会社10社
Yamaha Corporation of America
Yamaha Canada Music Ltd.
Yamaha Music Holding Europe G.m.b.H
Yamaha Music Central Europe G.m.b.H
Yamaha-Kemble Music (U.K.) Ltd.
Yamaha Musique France S.A.S.
P.T.Yamaha Music Manufacturing Asia
雅馬哈楽器音響(中国)投資有限公司
天津雅馬哈電子楽器有限公司
- 主要製品
ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、
教育楽器、音響機器、防音室、
音楽教室、英語教室、コンテンツ
配信、調律

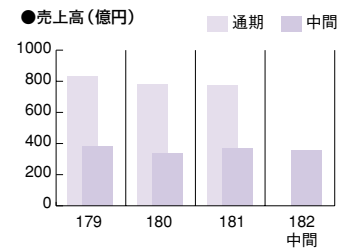


AV・IT事業

オーディオは、ホームシアターのシステム商品が、北米市場では売上げを伸ばしましたが、国内、欧州市場で振るわず、売上げ減少となりました。情報通信機器は、企業向けルーターが競争激化により減収となりました。

以上により、当事業の売上高は354億54百万円(前年同期比3.7%減少)、営業利益は6億62百万円(前年同期比72.8%減少)となりました。

- 主要連結子会社
ヤマハエレクトロニクスマーケティング(株)
Yamaha Electronics Corporation, USA
Yamaha Elektronik Europa G.m.b.H
Yamaha Electronics Manufacturing (M) Sdn.Bhd.
雅馬哈楽器音響(中国)投資有限公司
- 主要製品
オーディオ、情報通信機器

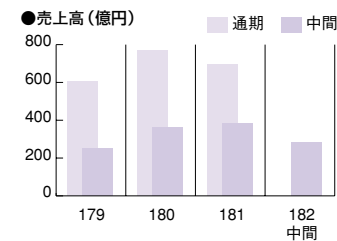


電子機器・電子金属事業

半導体は、携帯電話用音源LSIが、販売数量の減少と単価ダウンにより売上げ減少となりました。また、電子金属事業も売上げ減少となりました。

以上により、当事業の売上高は283億30百万円(前年同期比26.2%減少)、営業利益は51億14百万円(前年同期比61.2%減少)となりました。

- 主要連結子会社
ヤマハ鹿児島セミコンダクタ(株)
ヤマハメタニクス(株)
- 主要製品
半導体、特殊合金



リビング事業

ショールームの整備など顧客との接点拡充、商品力の強化を図る中で、主力商品のシステムキッチンが大幅に伸長したことから、売上げ増加となりました。また、損益は、売上げ増加と経費削減効果により、改善されました。

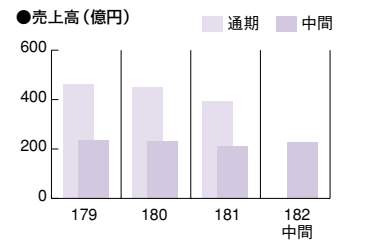
以上により、当事業の売上高は226億17百万円(前年同期比6.6%増加)、営業利益は10億42百万円(前年同期は営業損失1億15百万円)となりました。

レクリエーション事業

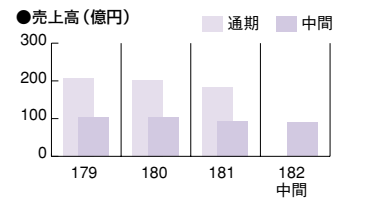
レクリエーション事業は、集客数の減少により売上げ減少となりましたが、損益につきましては、経費削減効果により改善しました。

以上により、当事業の売上高は89億43百万円(前年同期比5.0%減少)、営業損失は6億64百万円(前年同期は営業損失11億54百万円)となりました。

- 主要連結子会社
ヤマハリビングテック(株)
- 主要製品
システムキッチン、システムバス、
洗面化粧台



- 主要連結子会社
(株)キロロアソシエイツ他5社
- 主要製品
観光施設・宿泊施設・スキー場
およびスポーツ施設の経営

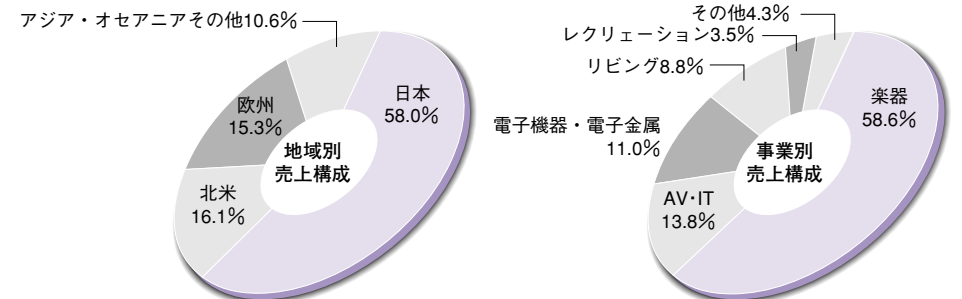
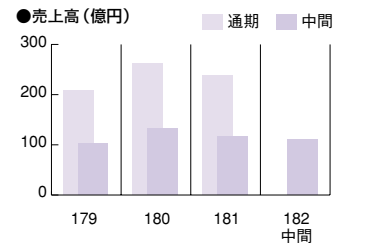


その他の事業

ゴルフ事業および自動車用内装部品事業は、売上げ横這いとなりましたが、FA事業、金型・部品事業は、売上げ減少となりました。

以上により、当事業の売上高は110億77百万円(前年同期比4.4%減少)、営業利益は1億38百万円(前年同期は営業損失54百万円)となりました。

- 主要連結子会社
ヤマハファインテック(株)
- 主要製品
ゴルフ用品、自動車用内装部品、
FA機器、金型・部品



● 連結貸借対照表の要旨

科目	182中間期(当中間期)	181 中間期
	'05年9月	'04年9月
資産の部		
流動資産	227,927	242,447
現金及び預金	31,287	42,521
受取手形及び売掛金	83,321	88,057
棚卸資産	90,697	89,407
繰延税金資産	17,991	17,361
その他	6,592	7,325
貸倒引当金	△1,963	△2,226
固定資産	293,824	282,209
有形固定資産	147,782	146,164
償却資産	82,654	80,236
土地	63,557	64,288
その他	1,570	1,639
無形固定資産	3,822	1,068
投資その他の資産	142,218	134,977
投資有価証券	117,730	103,599
繰延税金資産	15,032	22,427
その他	10,667	10,170
貸倒引当金	△1,211	△1,220
資産合計	521,751	524,656

単位:百万円

科目	182中間期(当中間期)	181 中間期
	'05年9月	'04年9月
負債の部		
流動負債	136,665	169,200
支払手形及び買掛金	41,843	47,088
短期借入金	35,509	35,302
一年以内返済の長期借入金	1,723	26,612
未払費用及び未払金	39,208	39,575
未払法人税等	8,390	9,704
諸引当金	3,300	3,687
その他	6,690	7,229
固定負債	82,497	97,845
長期借入金	9,545	3,746
再評価に係る繰延税金負債	14,161	14,353
退職給付引当金	28,152	47,433
長期預り金	28,014	29,581
その他	2,622	2,730
負債合計	219,162	267,046
少数株主持分		
少数株主持分	4,074	3,974
資本の部		
資本金	28,534	28,534
資本剰余金	40,054	40,054
利益剰余金	227,372	188,658
土地再評価差額金	22,041	22,088
その他有価証券評価差額金	11,285	8,806
為替換算調整勘定	△30,483	△34,244
自己株式	△290	△262
資本合計	298,514	253,635
負債、少数株主持分及び資本合計	521,751	524,656

● 連結損益計算書の要旨

科目	182中間期(当中間期)	181 中間期
	'05年4月~'05年9月	'04年4月~'04年9月
売上高	257,193	268,584
売上原価	162,784	165,747
延払未実現利益	47	130
販売費及び一般管理費	80,088	78,767
営業利益	14,367	24,200
営業外収益	9,688	6,959
営業外費用	2,717	2,871
経常利益	21,338	28,288
特別利益	1,341	592
特別損失	531	33,161
税金等調整前中間純利益	22,148	△4,281
法人税、住民税及び事業税	6,897	9,198
法人税等調整額	△1,581	△7,722
少数株主利益	307	358
中間純利益	16,524	△6,115

単位:百万円

● 連結剰余金計算書の要旨

科目	182中間期(当中間期)	181 中間期
	'05年4月~'05年9月	'04年4月~'04年9月
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	40,054	40,054
資本剰余金中間期末残高	40,054	40,054
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	212,340	203,485
利益剰余金増加高	17,826	162
利益剰余金減少高	2,794	14,990
利益剰余金中間期末残高	227,372	188,658

単位:百万円

● 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

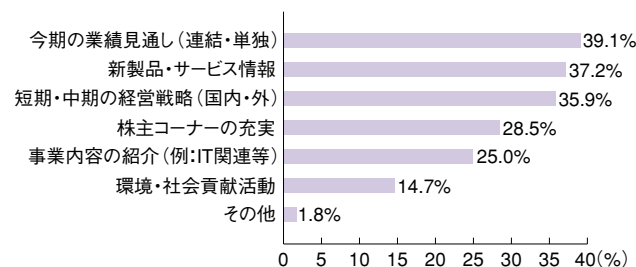
科目	182中間期(当中間期)	181 中間期
	'05年4月~'05年9月	'04年4月~'04年9月
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,099	7,823
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,929	△10,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,891	12,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	480	853
現金及び現金同等物の増減額	△22,439	11,112
現金及び現金同等物の期首残高	50,393	31,245
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	1,685	—
除外連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	△337
現金及び現金同等物の中間期末残高	29,639	42,019

単位:百万円

アンケート集計結果のご報告

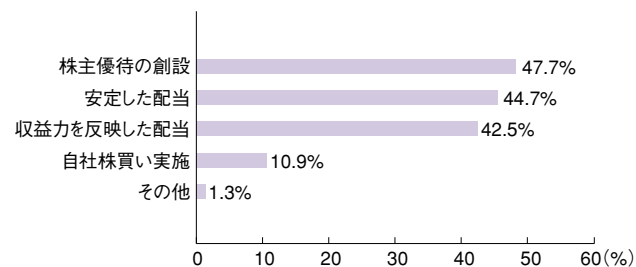
第181期事業報告書におきまして2005年3月時点の株主の皆さまよりご協力いただきましたアンケートの集計結果を一部抜粋してご報告申し上げます。なお、当ご報告は2005年6月末から7月15日までにご回答いただきました1,284通を集計したものです。アンケートにご協力いただいた皆さまにお礼を申し上げるとともに、寄せられたご意見を真摯に受け止め、皆さまの声にお応えしてまいります。

今後の事業報告書で掲載を希望されるテーマをお聞かせください【複数回答】



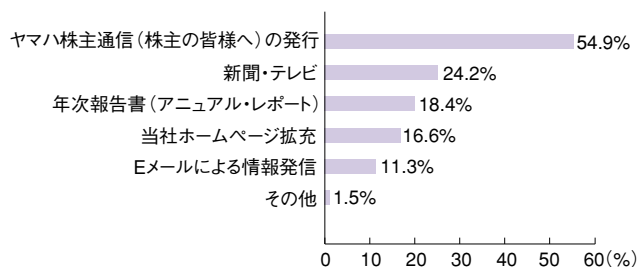
誌面に掲載を希望されるテーマは「今期の業績見通し」が最も多く、次いで「新製品・サービス情報」「短期・中期の経営戦略」という結果でした。今後、皆さまのご関心の高い情報をテーマにした誌面づくりを目指します。

株主還元についてどのようにお考えですか【複数回答】



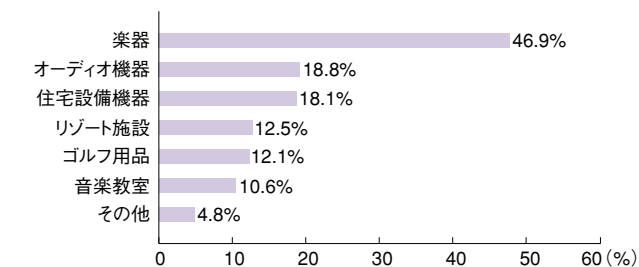
「株主優待の創設」「安定した配当」「収益力を反映した配当」が多くの株主様のご意見でした。ヤマハラしさを第一に今後検討してまいります。

当社関連情報をお届けする手段としてご希望されるものをお聞かせください【複数回答】



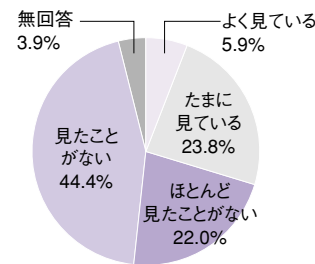
多くの株主様より『ヤマハ株主通信』の発行をご希望いただきました。それ以外の項目も含め、今後検討してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

ヤマハの製品またはサービスでご利用いただいているものは何ですか【複数回答】



ありがとうございます。これからも皆さまに愛される製品づくりを目指します。

当社ホームページをご覧になっていますか



ホームページの内容充実を図り、皆さまにご活用いただけるホームページづくりを目指します。

当社では今回の株主の皆さまからのアンケートの結果、ご意見をふまえ、今後の株主サービス拡充の参考とさせていただきます。アンケートのご協力、誠にありがとうございました。また、当中間期におきましても、アンケートを実施させていただきます。皆さまの声をお聞かせください。なお、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10名様に**3,000円分の音楽ギフト券**をプレゼントいたします。

ご意見・ご要望

- 積極的な新製品・高品質商品の開発と事業創出をお願いします。
- 長期安定経営を望みます。
- 世界のヤマハとしての躍進を楽しみにしています。
- PRが不足している。もっとPRをしてください。
- ブランドイメージを守り、さらにイメージアップしてください。
- 情報をCMで流してください。
- ヤマハブランドを活かした商品での収益力を強化してください。
- 音楽環境の充実にご寄与してほしい。
- 自然共生技術を確立して自然環境保護に貢献してほしい。

お知らせ

2005年9月より個人投資家のみなさま向けのホームページを開設いたしました。投資家向け情報同様、ご活用ください。

- 投資家向け情報 …………… <http://www.yamaha.co.jp/about/ir>
- 個人投資家のみなさまへ …… <http://www.yamaha.co.jp/about/ir/individual>
- 携帯電話用IRサイト …………… <http://m-ir.jp/c/7951>

携帯電話用IRサイト



株式の状況

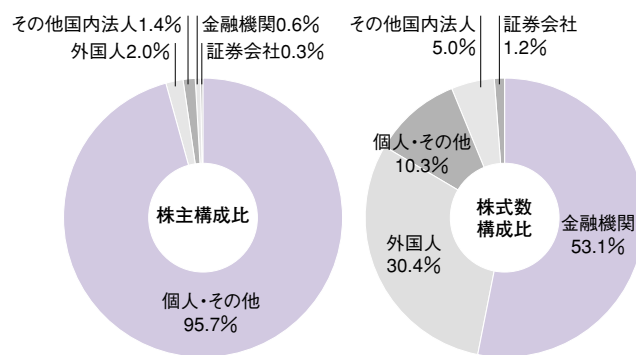
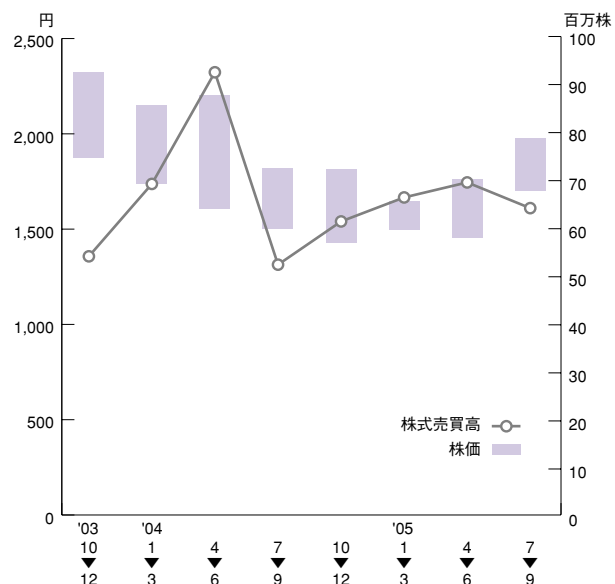
● 会社が発行する株式の総数	700,000,000株
● 発行済株式総数	206,524,626株
● 株主数	16,844名

● 株主分布状況		
株主構成	株主数	株式数
個人・その他	16,125名	21,211千株
金融機関	102	109,652
その他国内法人	240	10,363
外国人	338	62,728
証券会社	39	2,568

● 大株主の状況

株主名	所有株式数	持株比率
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,074千株	9.24%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,586	6.58
三井住友海上火災保険株式会社	8,918	4.32
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	8,779	4.25
株式会社静岡銀行	8,349	4.04
住友生命保険相互会社	7,300	3.53
日本生命保険相互会社	6,482	3.14
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	5,922	2.87
株式会社みずほコーポレート銀行	5,775	2.80
ピー・エヌ・ピー・パブリックセキュリティーズ(ジャパン)リミテッド	3,518	1.70

● 株価および株式売買高の推移 (東京証券取引所)



(2005年9月30日現在)

会社の概要

会社の概要

● 商号	ヤマハ株式会社
	YAMAHA CORPORATION
● 本店	〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10番1号
● 設立	1897年10月12日(創業1887年)
● 資本金	28,534,856,685円
● 従業員数	19,375人(連結) 5,815人(単独)

※いずれも臨時従業員を含んでおりません。(2005年9月30日現在)

役員

● 取締役	代表取締役会長	岸 田 勝 彦
	代表取締役社長	伊 藤 修 二
	常務取締役	加 藤 博 万
	取締役	黒 江 常 夫
	取締役	長 谷 川 至
● 監査役	常勤監査役	花 本 眞 也
	常勤監査役	牧 野 時 久
	常勤監査役	八 幡 泰 司
	常勤監査役	太 田 直 幹
	常勤監査役	堀 越 美知夫
● 執行役員	監査役	三 浦 州 夫
	監査役	和久田 晴比古
	上席執行役員	梅 村 充
	執行役員	篤 田 勝 宏
	執行役員	林 田 甫
	執行役員	戸 部 儀 和
	執行役員	高 橋 源 樹
	執行役員	関 口 博
	執行役員	田 丸 卓 也
	執行役員	加 茂 幸 助
執行役員	新 美 幸 二	
執行役員	岡 部 比呂男	
執行役員	吉 良 康 宏	
執行役員	小 原 辰 三	
執行役員	佐 々 木 勉	

(2005年9月30日現在)

株主メモ Shareholders Information

● 決算期	3月31日
● 基準日	3月31日(その他必要があるときは、予め公告いたします)
● 定時株主総会	6月
● 利益配当金受領株主確定日	3月31日
● 中間配当金受領株主確定日	9月30日
● 1単元の株式数	100株
● 公告掲載新聞	東京都において発行する 日本経済新聞
● 貸借対照表ならびに損益計算書のホームページアドレス	http://www.yamaha.co.jp/ir/kessan/index.html
● 名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
● 同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 Tel:052-262-1520

● 同取次所

中央三井信託銀行株式会社本店および全国各支店、
日本証券代行株式会社本店および全国各支店

● その他

株式の名義書換、単元未満株式の買取請求、配当金のお支払いおよび諸届等のお問合せは、上記名義書換代理人の事務取扱場所ならびに同取次所でお取扱いいたします。なお、「証券保管振替機構」に預託されました株券についての諸届および手続等に関するお問合せは、お取引先の証券会社へお願いいたします。
住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。



ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10番1号

Tel: 053(460)2800

Fax: 053(460)2802

URL: <http://www.yamaha.co.jp/>



この中間事業報告書は再生紙に大豆インキで印刷しました。